

福島第一原子力発電所の状況

2016年2月22日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (2/22 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中*	給水系：約 2.3 m ³ /h	14.4 °C	0.89 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中*	給水系：約 1.9 m ³ /h	19.0 °C	4.31 kPa g	A系： 0.03 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
3号機	淡水 注入中*	給水系：約 1.9 m ³ /h	17.0 °C	0.24 kPa g	A系： 0.09 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.09 vol%

※作業に伴い、復水貯蔵タンク炉注水系から高台炉注水系へ切替実施。1号機は2/18 14:00～、2号機は同日 15:00～、3号機は同日 16:00～、高台炉注水用流量計にてデータ採取。

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (2/22 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.1 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	24.4 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	20.1 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	9.5 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

<3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (2/22 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<4. その他>

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要となる工事が完了。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・セシウム吸着塔一時保管施設第二施設に保管されているHICについては、前回の報告(2016/1/22)以降も順次調査を継続しているが、その中で新たに吸水ブロックに水が染み込んでいるHICは確認されなかった。
セシウム吸着塔一時保管施設第三施設に保管されているHICについて、2/18 時点で 526 基の調査を実施したが、新たにたまり水および吸水ブロックに水が染み込んでいるHIC、ベント孔に未貫通箇所のあるHICは確認されなかった。なお、2/20 までの各施設における、たまり水および吸水ブロックに水の染み込みが確認されたHICの基数については、以下のとおり。
 - ・セシウム吸着塔一時保管施設第二施設:34 基
 - ・セシウム吸着塔一時保管施設第三施設:2 基
 引き続き、原因調査を行うとともにHICの調査を実施する。

- 2/22 9:30 頃 5号機原子炉建屋5階オペレーティングフロア上にいた当社社員が、使用済燃料プール内底部に設置してあった、機器貯蔵ピット残水移送作業で使用していた浄化用フィルタ(重量約130kg)が、使用済燃料集合体ラック上部に移動していることを発見。
5号機原子炉建屋のエアモニタおよびダストモニタの指示値に有意な変動は無い。今後、当該燃料集合体への影響の有無を確認する。
- 2/22 14:45 頃 入退城管理棟の防護装備脱衣所付近において、協力企業作業員が倒れていることを発見。入退城管理棟救急医療室にて医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたことから、15:11に救急車を要請。なお、当該作業員に身体汚染はない。15:45救急車にて入退城管理棟救急医療室を出発。15:20にドクターヘリを要請し、16:06双葉町の郡山海岸からドクターヘリにて、いわき市立総合磐城共立病院に出発。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- 2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え。
- 一時貯水タンクAの当社および第三者機関による分析結果[採取日2/12]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/19 10:15より海洋への排水を開始。その後、14:38に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は661m³。
- 一時貯水タンクBの当社および第三者機関による分析結果[採取日2/13]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/20 9:59より海洋への排水を開始。その後、14:28に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は650m³。
- 一時貯水タンクCの当社および第三者機関による分析結果[採取日2/15]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/21 9:51より海洋への排水を開始。その後、14:06に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は617m³。

【地下水バイパスの状況】

- 地下水バイパス揚水井No.1～12のサンプリングを継続実施中。
- 地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の分析結果[採取日2/10]について、運用目標値を満足していることを確認。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・今回の分析結果については、前回の分析結果より上昇しているが、降雨の影響による一時的な上昇と推定。

【H4,H6エアータンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エアータンク周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上